

基本方針及び施策体系案について (第2次柏市教育振興計画)

令和2年10月21日

柏市教育振興計画策定有識者懇談会資料

基本方針及び施策体系案について(学校教育部分)

未来にはばたく柏っ子

～学び続ける力の育成, 多様性の尊重, 安全・安心な学校づくり～



【基本方針の考え方】

- 未来の社会で活躍する子どもを育成するという想い
- 親しみやすいキャッチフレーズ
- 「学び続ける力」「多様性の尊重」が子どもたちに身に付けさせたい力
- その基盤となる「地域・家庭」「教職員」による「安全・安心な学校づくり」

【施策体系の考え方】

- 施策展開の方向に深く関連する事業・事務局として特に力を入れていく事業について、重点取組として設定
- 事務局として今後力を入れていく事業を、施策展開の方向に紐付け

【生涯学習推進計画との関係】

最終的な施策体系としては、第4次生涯学習推進計画の内容も含めた施策体系を設定する。

人生100年時代では、若年期において、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の涵養といった資質・能力を身に付けることに加え、生涯にわたって自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の課題解決のための活動につなげていく必要性が高まっている。

重点取組について

分かる授業の推進

- 学力・学習状況調査の結果等を活用し、児童生徒の実態を踏まえた授業改善を進めます。
- 授業公開の取組である「みんなでつくる魅力ある学校」を通して、授業力の向上を図ります。
- 算数支援教員や理科教育支援員の配置により、授業づくりの支援をします。

ICTの利活用の推進

- 1人1台の端末を活用した授業改善により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。
- ICT支援員の配置、教職員研修の充実により、ICTの活用を推進していきます。
- 柏市情報リテラシー育成カリキュラムに基づき、小中9年間において体系的に情報活用能力の育成を進めます。

情報モラル教育の推進

- 柏市情報モラル育成プログラムに基づき、小中9年間の発達段階に応じた情報モラル教育を進めます。
- 実際の危険事例等を基にした情報モラル講演を実施する中で、正しいスマートフォンの使い方を促していきます。

いじめ防止対策の推進

- 「柏市いじめ防止基本方針」及び「いじめ問題対応の手引き」に基づき、いじめ対策を進めていきます。
- STOPitの提供と合わせた「SOSの出し方教育」「脱いじめ傍観者教育」「多様な性の理解(LGBT)」に関する授業を展開します。
- 指導主事によるいじめ防止授業を実施します。
- 学級経営アドバイザー、スクールサポーター等による学級づくりの支援をします。
- 人権教育研修等により、いじめの背景にある環境(貧困、ストレスなど)についての教職員の理解を促進します。
- いじめ防止サミットなどのいじめを許さない雰囲気づくりに向けた取組を進めていきます。

不登校等児童生徒への支援の充実

- 学校以外の通える場として、学習相談室、教育支援センターによる支援を行います。また、学習相談室指導員による訪問支援を行います。
- 不登校児童生徒に対し、1人1台端末を活用したオンライン学習等の支援を行います。
- サポート教員(生徒指導・不登校支援)により、不登校支援室・相談室などに別室登校している生徒への学習指導等の支援を行います。
- フリースクールとの連携を進めます。
- あすなるキャンプなど、社会的自立につながる取組を行います。
- 保護者に対し、不登校経験者の話を聞く機会の提供、進路についての情報提供、個別相談を行います。
- スクールソーシャルワーカーを増員するとともに、研修を実施し、質の向上を図ります。虐待が疑われる案件については、児童虐待の所管部署とも連携して対応していきます。
- 義務教育未修了の方や、不登校等で十分に通うことができなかった方など、中学での学び直しを希望する方等を対象とする夜間中学の設置について、調査研究を進めていきます。

特別支援教育の推進

- 教育支援員を配置し、担任を支援するとともに、交流及び共同学習を推進していきます。
- 通常の学級においては、特別支援サポート教員を配置し、取り出し支援も含めたサポートを行っていきます。
- 通常の学級での授業が可能と考えられる児童生徒について、段階的に通常の学級に戻していくことを促していくため、学校への周知や指導主事による学校訪問を行います。
- 医療的ケアが必要な児童生徒に対して、医療的ケア看護師を配置すること等により、適切な支援を行い、安全・安心な学校生活をサポートします。

学校施設・設備の維持管理

- 柏市立学校施設個別施設計画に基づき、計画的に老朽化対策を実施していきます。
- 引き続き、トイレの改修を進めていきます。
- 学校遊具点検を継続実施するとともに、安全に使用できるよう、修繕や更新を進めていきます。

教職員の育成

- 柏市教職員人材育成指針及び指標並びに柏市学校管理職人材育成指針及び指標に基づき、柏市独自の研修体系を構築するとともに、人材育成を効果的・計画的に推進します。
- 人材育成アドバイザーを配置し、学校現場への訪問の実施や学校からの相談を受けることで、学校経営を支援します。
- 「Off-JT(校外研修)」「OJT(校内研修)」「SD(自己研鑽)」の関連を図り、実効性のある人材育成体制を整備します。

働き方改革の推進

- 教育委員会・学校が連携し、柏市全体及び各学校の負担軽減策の検討を進めていきます。
- 保護者対応を始め、校務(学校事務)のさらなる効率化を目指した情報化を促進させ、教職員及び保護者の負担軽減を図ります。
- 部活動ガイドラインの運用を強化していくとともに、部活動の在り方を含めて検討していきます。

学校・地域・家庭の連携

- 学校運営協議会の全小中学校設置を令和5年度までに完了し、コミュニティ・スクールとしてスタートします。
- 地域学校協働活動の中心となる推進員を令和4年度から委嘱し、継続的に推進員の育成を進めることにより、学校運営協議会での議論が実際の活動へとつながる形に整備していきます。
- 放課後子ども教室の内容の充実、家庭教育支援「みんなの子育て広場」の充実を進めていきます。
- 教育福祉会館の自律(立)的な運営や公民館事業等を通じて、学校や地域で活躍できる人材の育成を進めていきます。